学校番号	3001

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「現代社会」新訂版　（清水書院）						
副教材等	使用せず						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の様々な出来事に関心を持つ。
・「なぜ」という視点から現代社会の問題を考える。
・教科書は毎時、持参する。ワークシートは適時提出を求める。

2　学習の到達目標

・現代の社会と人間についての理解を深める。
・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断する。
・人間としてのあり方生き方について考察する力の基礎を養う。
・良識ある区民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的な問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、現代社会に生きる人間としてのありかた生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的な問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としてのありかた生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的な問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通じて収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身につけている。	現代社会の基本的な問題と人間としてのありかた生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授ワークシート 観察	ワークシート 定期考査	ワークシート	定期考査 ワークシート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代社会における諸課題	・地球環境問題 ・資源エネルギー問題 ・生命	○	○	○		a:環境、生命、情報などに関わる主題を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な資料を元に図表などを作成できる。 d: 設定された主題について理解し、その知識を身につけている。	観察 ワークシート 定期考査
1～2学期	現代の民主政治と指示参加の意義	・民主政治の基本原理 日本国憲法の三大原則 国会・内閣・裁判所 ・国民の政治参加と地方自治 地方自治 政党政治と選挙	○	○	○	○	a:民主政治や日本国憲法について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 設定された主題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c: 事例の考察に必要な資料を元に図表などを作成できる。 d: 民主政治や日本国憲法について理解し、その知識を身につけている。	観察 ワークシート 定期考査
2～3学期	現代の経済社会と経済活動のあり方	・現代の経済社会 景気と物価 経済成長 企業 財政と金融 ・経済活動のありかた 社会保障制度 労働問題	○	○ ○	○ ○	○	a: 経済に関わる主題を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b: 設定された主題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c: 事例の考察に必要な資料を元に図表などを作成できる。 d: 経済について理解し、その知識を身につけている。	観察 ワークシート 定期考査

3学期	国際社会の動向と日本の果たすべき役割	・国際社会の動向 冷戦と冷戦後の社会 核兵器と軍縮 国際連合と国際平和 ・国際社会と日本 日本の安全保障 国際協力	○	○	○	○ ○	a: 国際社会に関わる主題を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b: 設定された主題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c: 事例の考察に必要な資料を元に図表などを作成できる。 d: 国際政治、国際経済について理解し、その知識を身につけている。	観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解